

I 実施計画（平成26年度～平成28年度）の概要（肉付予算）

1 計画の目的

本市は、長期総合計画において、市の将来像を「人も元気 まちも元気 新鮮都市 いとしま」と設定し、目指すべき都市イメージとして、「みんなに優しい住みよいまち」、「自然をたいせつにした美しいまち」、「みんなでつくる自立したまち」を掲げています。

これらを実現するために、市のまちづくりの基本理念を「人と自然と文化を生かした協働のまちづくり」とし、その基本理念のもとに設定した7つの基本目標に基づき、今後のまちづくりを進めていくこととしています。

また、長期総合計画には、幅広い分野の内容が盛り込まれています。限られた資源で効率的に地域課題を解決するため「子育て支援プロジェクト」、「校区まちづくり推進プロジェクト」、「九州大学を生かした地域づくりプロジェクト」の3つを重点プロジェクトとして掲げています。

本実施計画は、長期総合計画に定められた施策に基づき、主要かつ優先度が高い事業を具体的に示すものです。

なお、本実施計画は、平成26年6月議会で決定した肉付け予算分の計画を策定するものです。

2 計画書の構成

実施計画書は、主要な施策・事業を定める「事業計画書」及び全事業の財源を示した「事業一覧表」で構成しています。

実施計画書に計上している施策・事業は、ハード事業、又はソフト事業を下記の基準により選定しています。

【ソフト事業】

3年間の総事業費が100万円以上のもの。

【ハード事業】

事業完了までの総事業費1,000万円以上のもの。

3 計画の期間

実施計画の期間は、平成26年度から平成28年度の3年間とします。

4 実施計画事業の評価

実施計画に計上する事業については、事業実施の前後で、次に掲げる3つの評価を行います。

①事前評価

実施計画に計上する事業を決定するに当たり、事業の有効性、効率性などを視点に事前評価を行います。

評価種類	内部評価
評価時期	実施計画策定前
評価対象	実施計画に計上する事務事業（新規事業）
評価者	各事業担当部課、実施計画担当課、庁議
評価視点	必要性、妥当性、効率性、緊急性、有効性等
結果反映	実施計画策定、予算編成、職員配置

②中間評価

実施計画に継続して計上する事業について、当初設定していた効果目標が得られているかを評価し、必要に応じ事業の見直しを行います。

評価種類	内部評価、外部評価
評価時期	実施計画策定前
評価対象	実施計画に計上している事務事業（継続事業）
評価者	各事業担当部課、実施計画担当課、庁議、外部評価委員
評価視点	必要性、妥当性、効率性、緊急性、有効性等
結果反映	実施計画の見直し（継続、拡大、縮小、休止、廃止等の判断） 予算編成、職員配置

③事後評価

実施計画に計上した事業について、事業完了後に、当初設定していた効果目標が得られたかの評価・分析を行い、その後の関連事業の参考とします。

評価種類	内部評価
評価時期	事務事業完了後
評価対象	実施計画に計上し、完了した事務事業
評価者	各事業担当部課
評価視点	効率性、妥当性、有効性等
結果反映	関連事業企画立案の参考とする

5 計画の概要と財源

本実施計画（肉付予算・3ヵ年）に計上した事業費の総額は、31億4,825万6千円（一般会計、特別会計、企業会計含む）で、その充当財源の内訳は、「Ⅱ 実施計画事業一覧表（P4～）」に示しています。

一般会計事業において必要な一般財源の総額は、10億5,397万5千円です。

実施計画策定にあたっては、厳しい財政状況を考慮しながら、国県などの補助、交付税措置のある起債などを極力活用し、緊急性を最重視して財源を配分しました。

◆基本目標別の事業費（一般会計、特別会計含む） （単位：千円）

基本目標	H26年度	H27年度	H28年度
①みんなが健康で元気なまちづくり	22,282	21,041	13,091
②子どもが健やかに育つまちづくり	24,975	71,087	68,501
③海、山、川をたいせつにしたまちづくり	82,813	15,300	30,300
④快適に暮らすことができる安全・安心のまちづくり	311,973	473,617	640,898
⑤みんなの力で進める協働のまちづくり	51,960	136,514	18,254
⑥経営感覚を持った持続可能なまちづくり	200,415	339,244	100,091
⑦地域資源を生かした産業創出のまちづくり	222,862	169,719	133,319
合計	917,280	1,226,522	1,004,454

※全事業数・・・107事業(肉付予算)

以下、長期総合計画における7つの基本目標別に、該当する施策・事業の概要について説明します。